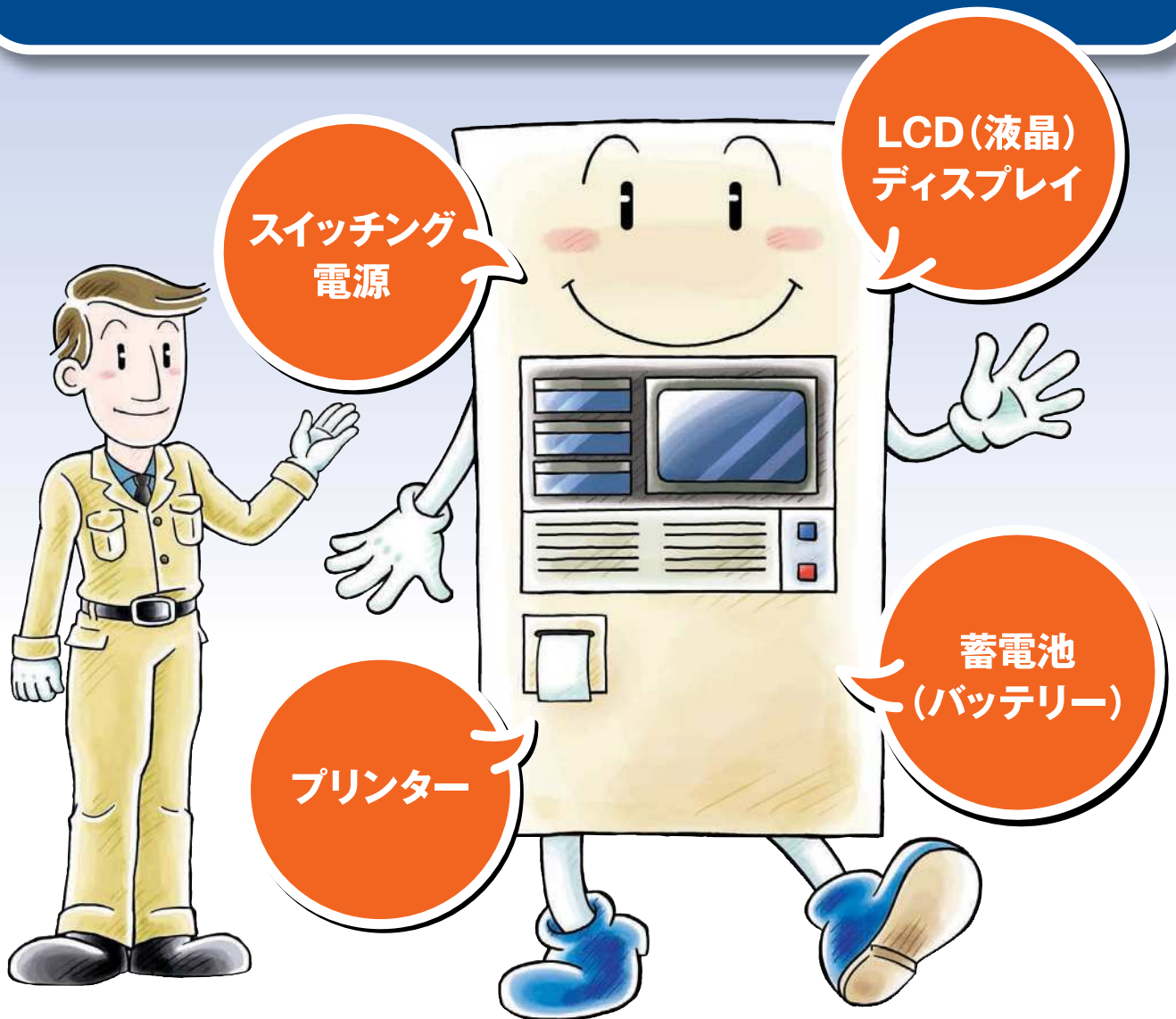


定期交換部品は

定期的に交換しましょう!!

24時間働き続ける防災設備の受信機などは、
設置されてからずっと電源が入ったまま火災を監視し続けています。



◎ 定期交換部品の交換のおすすめ ◎

受信機などに使用しているスイッチング電源や蓄電池(バッテリー)など、寿命年数が約3~6年の部品、ユニットがあります。これらの部品、ユニットを定期的に交換することにより防災設備本来の機能を適性に維持することができます。

定期交換推奨年数は、裏面をご参照ください。

NOHMI

自動火災報知設備等に使用する定期交換部品の 交換推奨年数一覧表

電気部品・ユニット	定期交換推奨年数
スイッチング電源	5年
無停電電源装置(UPS)本体	6年
シール鉛蓄電池(UPS用を含む)	3年
冷却ファン(UPS用を含む)	3年
ニッケルカドミウム蓄電池	5年
CRTディスプレイ	4年
LCD(液晶)ディスプレイ	5年
プラズマディスプレイ	5年
ELディスプレイ	5年
ハードディスクドライブ	4年
フロッピーディスクドライブ	5年
プリンター	5年

注1 交換推奨年数は、この間の電気部品・ユニットおよび自動火災報知設備等の機能・性能を保証するものではありません。

注2 交換推奨年数は、取扱説明書どおりに使用し、良好な環境で使用した場合は、

注3 定期交換部品以外の電気部品・ユニットについても経年劣化による故障が発生することがあります。

注4 定期交換部品の修復を行う時は、取付け方法、設定方法などが機器により指定されている場合がありますので、詳細は防災機器メーカーにお問い合わせ願います。

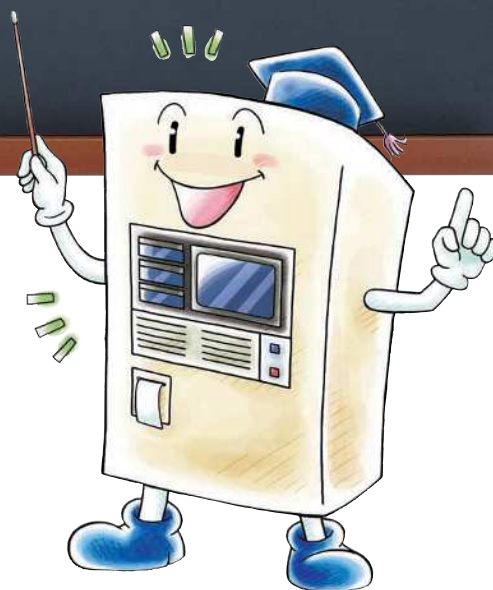
注5 電気部品・ユニットの一部には仕様の違いにより交換推奨年数が異なる場合がありますので、詳細は防災機器メーカーにお問い合わせ願います。

注6 自動火災報知設備等は、設置経過年数により部品の生産終了が多くなり、定期交換部品を含めた電気・電子部品の供給ができなくなることがあります。この場合は自動火災報知設備等の更新(リニューアル)が必要となります。

注7 自動火災報知設備等の更新時期については、(一社)日本火災報知機工業会の資料「既設の自動火災報知設備機器の更新について」をご参照願います。

注8 自動火災報知設備等以外の消防用設備についても、上記定期交換部品を使用している場合は、交換を推奨します。

一般社団法人 日本火災報知機工業会の資料より抜粋



- 防災設備の劣化診断をおすすめします。当社にご用命ください。
- 大切な防災システムのメンテナンスは多数の有資格者を有する当社CS部門または当社代理店・特約店にご用命ください。